



ひよい にしもろ日和

第92号

令和6年高原町消防出初式が開催されました

1月7日に高原町ほほえみ館にて、高原町消防出初式が開催されました。式典後には消防団員による分裂行進及び一斉放水点検が行われ、参加者が火災のない町、災害のない町に向けて決意を新たにしました。

町内では、令和5年に建物火災3件など計9件の火災が発生しています。空気が乾燥する時期が続きますので、暖房器具や火の取扱いには十分御注意ください。



火を消して 不審を消して つなぐ未来

(2023年度全国統一防火標語)



西諸県地方連絡協議会 西諸県農林振興局

〒886-0004 小林市細野367-2
TEL (0984) 23-3164 FAX (0984) 22-7884
Email: nishimoro-norin@pref.miyazaki.lg.jp

「令和5年度 にしもろサップ冬期大会」 が開催！

12月19日に西諸県農業改良普及センターにて、「令和5年度にしもろサップ冬期大会」が開催され、会員16名と新規就農者3名が参加しました。



大会では、温水聖さん（小林市）の意見発表「牛は牧草が全てだぞ！」、立久井友文さん（えびの市）のプロジェクト発表「キャベツ根こぶ病対策」に続き、11名の会員によるプロジェクト取組報告が行われました。

その後、西諸県地区農業経営指導士会の税所会長より、関係機関による審査結果の発表及び審査講評が行われました。

審査委員長の税所会長からは、「取組内容の発想が良かった」「発表の中に具体的な数値を盛り込むと良い」「県SAPグランプリでも頑張ってもらいたい」といった講評がありました。

今大会で発表した温水聖さん（小林市）と立久井友文さん（えびの市）の2名は、令和6年2月2日に宮崎県庁で開催される県SAPグランプリに地区代表として出場する予定です。

参加者が互いの取組を学習し、日々の農業における取組を切磋琢磨していくことで、西諸地域の農業が持続し、発展していくことが期待されます。



サップ（SAP）とは・・・

Study for Agricultural Prosperity

（農業繁栄のための学修）の頭文字を取って **SAP（サップ）** といいます。

SAPは、県内の青年農業者で構成され、会員自らの学修と実践の積み重ねによって、魅力ある農業経営を確立するために活動しています。

電子マネーを購入させる架空請求詐欺に注意!!

宮崎県内で特殊詐欺が急増しています

【令和5年12月末現在】

被害件数 52件
被害額 3億5807万円

近年、電子マネー購入による特殊詐欺が増加しているため、コンビニエンスストア事業者に対して、高齢者が高額の電子マネー（アマゾンギフトカード、アップルカード等）を購入しようとする際は、全件警察への通報を依頼しております。

警察官が、購入予定者が詐欺被害に遭っていないか、購入理由などを直接確認する必要があるため、各コンビニエンスストア事業者をお願いしているところですので、ご理解とご協力をよろしく申し上げます。

- 不審なメールが届いても開封したり、URLをクリックしないで下さい。
- 公共料金などの支払を電子マネーで請求することはありません。
- 電話でお金のお話が出たら詐欺と疑って下さい。

高齢者の交通事故が多発しています!!!

県内で高齢者のペダルの踏み間違いによる事故が発生しています。



区分	本年累計	前年比増減数
件数（件）	3 4 8 8	- 3 1 0
死者数（人）	3 0	- 2
負傷者（人）	3 9 0 8	- 3 3 7
物損事故（件）	2 4 9 7 6	+ 2 5 8 3



県内の交通事故状況（令和5年12月31日現在）



令和6年山火事予防運動を実施！

忘れない 山の恵みと 火の始末

一財)日本森林林業振興会 令和5年度標語



西諸県地区山火事予防パレード出発式と出発する広報車

山火事は、例年、雨が少なく乾燥する冬場から春先（1月～3月）に多発しています。

このため、県では1月4日～31日を山火事予防月間と定めて予防対策の強化に取り組んでおり、西諸県農林振興局では、懸垂幕やのぼり旗を設置したほか、市町や森林組合、消防署等と協力して1月25日に林野火災予防パレードを実施しました。

西諸県地域は、森林面積が総面積の約70%を占めていることから、一旦山火事が発生すると大きな被害となることが懸念されます。たばこのポイ捨てや強風時及び乾燥時には火入れ等をしないなど、県民1人1人が山火事防止の意識を持つことが予防の第1歩です。

地域の森林資源を未来に残し、継承していくためにも、皆様の御協力をよろしくお願いします。



〔西諸県農林振興局〕

高原林産物流通センターで令和6年新春初市が開催！



1月5日に宮崎県森林組合連合会高原林産物流通センター新春初市が開催されました。

初市に先立ち、主催者挨拶の後、戸高西諸県農林振興局長からの御挨拶として、これまでの本県林業・木材産業の振興への感謝の言葉を申し上げるとともに、県が立ち上げた「グリーン成長プロジェクト」を通じた資源循環型林業の実現に向けて、再造林を支える担い手の確保やスマート林業の推進、県産材の需要拡大への取組への協力をお願いいたしました。

引き続き行われた初市では、西諸県地域で生産されたスギやヒノキの原木2,200立方メートルが競りにかけられ、初値の平均はスギが昨年と比べ86円安い12,353円、ヒノキが同83円安い15,238円となりました。

林業・木材産業にとって2024年が、天高く昇る龍のごとく飛躍の年となることを期待します。



〔西諸県農林振興局〕